

R7年度デコ活補助金 採択案件



企業名
(共同事業者
含む)

事業概要
(予定)

代表事業者
(一社)リノベーション協議会

住



かえる。くらし。すまい。
リノベーション協議会

(共同事業者 株式会社インテリックス、株式会社 TEI Japan)

住宅改修、リフォーム時に事業者が消費者に省エネリノベーションの価値やメリットを分かり易く説明できるツール、WEBシステムを構築し、事業者側の行動変容を通じて、消費者に適切な省エネ改修を提案するプロジェクト。

住宅の改修・リフォーム時に適切な省エネ・性能向上リノベーションが普及・促進され、既存住宅における省エネ化を加速させる取り組み。

代表事業者
住友不動産株式会社

住

住友不動産 三協立山株式会社

住友不動産ハウジング LIXIL YKK ap



三協テック株式会社

断熱・省エネリフォームの普及拡大を目的とした**業界横断のタスクフォース**を組成し、認知～契約・施工に至るボトルネックを一気通貫で解消する以下の取組を全国を対象に実施

- ①認知拡大分科会
断熱・省エネリフォームに関するPR活動の実施
- ②営業力強化分科会
商談ツールの作成、研修会の実施
- ③技術力強化分科会
マニュアルの作成、研修会の実施

代表事業者
株式会社ECOMMIT

衣

ECOMMIT
LINEヤフー

LINEヤフーが提供するサステナビリティに関するニュースやアイデアを届ける「サストモ」とECOMMITが提供する資源循環インフラ「PASSTO」による、資源循環の加速に向けたプロジェクト。企業の資源循環の取り組みと生活者をつなぎ、家庭内に眠る資源を大規模に回収することで、循環型社会の推進に向けてインパクトのある循環を実現する。企業・生活者双方に意識と行動の変容を促し、資源循環が持続的に機能するエコシステムを社会に実装していくことを目指す。

R7年度デコ活補助金 採択案件



企業名
含む
(共同事業者)

代表事業者
JR西日本SC開発(株)

衣

JR西日本SC開発株式会社

Konel

事業概要
(予定)

衣料品廃棄の削減に向けて、使用者である生活者の不要になった服の行き先として、「捨てる」以外の選択肢を提供し、自らの価値観にあった手段の選択を促し、能動的に行動変容を起こすプロジェクト。服の行き先(=サービス)を提供する複数の企業と協業し、オフラインとオンラインの両軸から多くの生活者へ衣料品の廃棄以外の選択肢を提供する取り組み。

代表事業者
バリュエンスジャパン(株)

衣

Valuence
Circular Design Company

ConcePione
Design & Branding Agency

ZEROC

リサイクルバイヤー
ENDLINE.

代表事業者
株式会社ユーパーツ

買

U PARTS

株式会社エーアールツー
株式会社早稲田環境研究所

スポーツを通じて、本来の役目を終えた商材をアップサイクルし、国民や生活者の行動変容を促すプロジェクト。全国25競技・180以上のチーム・団体が使用するアイテムの製造元と連携し、短期間しか使用されない装飾品やユニフォームなどを回収し、元の素材やデザインの特性を活かしながら、付加価値の高い唯一無二のモノづくりを目指すとともに、プロスポーツ団体の地域コミュニティや押し活の要素を最大限に活かし、人々の生活や日常の中にサステナブルファッショングを溶け込ませる取り組み。

自動車リビルト部品販売注文サイトに新たにリビルトバッテリー部品のCO2削減効果の提示機能を追加し、ディーラーが国民に環境貢献をアピールできるようにするプロジェクト。

ディーラーにはリビルト部品の環境面だけでなく収益性等に関しても理解を深めてもらい、リビルト部品業界全体の成長に貢献する取り組み。

R7年度デコ活補助金 採択案件



企業名
(共同事業者
含む)

代表事業者
楽天グループ株式会社

基



INAC KOBE LEONESSA
INAC神戸レオネッサ

代表事業者
(一社)日本電動モビリティ推進協会

移



株式会社瀬田月輪自動車教習所
(月の輪自動車教習所)

事業概要
(予定)

神戸のスポーツチームと連携し、廃棄予定グッズを持続可能なインセンティブとすることで、試合会場でのエコアクションを推進。日常生活にも定着する仕組みとして、資源回収行動のログを計測する機能と持続可能なインセンティブを実装することで、神戸市の資源回収ステーション利用も促進する。さらに、楽天市場・楽天ラクマでの中古品売買を促し、スタジアムで実施したエコアクションを日常に定着させるスキームを社会実装する取り組み。

小型電動モビリティ（特定小型原動機付自転車）を活用し、日常的な近距離移動の手段として利用を促進し、脱炭素社会を推進とともに安全講習を実践することで、事故の抑制と安全運転教育環境を整備する取り組み。
自動車教習所での安全講習と試乗体験を通じ、アクティビシニア層に小型電動モビリティを普及させ、ガソリン車からの移行によるCO₂削減と移動手段を確保する。

代表事業者
川崎市

基



Colors, Future!
川崎市

行動変容によるCO₂削減貢献量を、環境アプリを通じて具体的な根拠（例：デコ活データベース）に基づく数値で示すとともに、地元スポーツチームとの連携や市イベントでの数値を用いた情報発信を行うことで、小型家電や古着等の回収といったサーキュラーエコノミを推進し、市民・事業者の行動変容の促進や、市域全体の脱炭素ライフスタイルの普及拡大を目指し、「川崎市脱炭素ライフスタイル行動変容促進プロジェクト」を実施する。